

太田市立南中学校 公開授業 中 総合的な学習の時間

総合的な学習の時間 第2学年 「環境プロジェクト」

授業者 太田市立南中学校 柳幸 真

宮永 忠幸

木部 一幸

1,本時のねらい

自分達と同じように「環境」をテーマに総合的な学習を行っている太田東中学校の生徒と研究計画や今までの実践の内容、成果についてテレビ会議システムを活用して情報交換することにより、学習意欲を高め、研究計画の見直しをさせる。



2,視聴覚機器の位置づけ

従来の交流学習は、文書や資料の交換、Webページやメールによる情報交換が主であった。そこで、テレビ会議システムを活用することにより、交流相手の顔を見ながらその場で意見交換を行えることによって、より一層生徒の学習意欲を高めることができるであろうと考える。

3,授業の概要

「テレビ会議システムを活用して、太田東中学校の生徒と情報交換を行い、自分達の研究計画の再検討をする」という本時の目標を確認した。次に、テレビ会議システムを使用するうえでの注意点として「ゆっくり大きな声で話す」「ノイズを拾いやすいので注意する」「天候に左右されやすいので途中で交信が切れてしまうかもしれない」ということを確認

し、以下のような流れで授業が行われた。

(1)東中による課題設定までの活動についての説明

再生紙や節電、節水に関するクイズなどを取り入れて、テレビ会議システムの特徴である双方向性を生かした発表を行うことができた。両校の生徒とも非常に意欲的に活動に取り組んでいた。

(2)南中による課題設定までの活動についての説明

蛇川の水質調査の概要や調査方法、調査結果を模造紙にまとめわかりやすく説明していた。また、発表後に質疑応答の時間を設け、活発に意見交換をすることができた。各生徒は、教師からの注意点をよく守り聞き取りやすいようにゆっくりと発言していた。

(3)東中による東中学区の水質検査についての報告

水のpHに関わる実験が実際に行われ、南中の生徒はスクリーンに釘付けになっていた。自分達も同じような実験をしていたせい、その後意見交換では、道具の入手方法やデータに関する質問が出された。

テレビ会議システムを活用することにより、緊張感のある意見交換が行われ、生徒は一つ一つの発表に真剣に耳を傾け自分達の研究計画の参考にしようとしていた。

